

太陽の子

2018年 4月 No.163

春の号

発行

日立市助川町5-14-8

TEL(23)2620 FAX(33)9150

ホームページ <http://www.taiyonoie.com>

Eメール npo@taiyonoie.com

NPO法人 日立太陽の家

日立重症心身障害児(者)を守る会

日立太陽の家支える会



体を伸ばしたり、動かしたり。ニコニコ笑顔で楽しいハビリテーションの時間です。(太陽の家)

ハビリテーション・ネットワークの構築

NPO法人日立太陽の家

理事長 小又克也

日々の生活の中で、重症心身障害の方々のご苦労をされていることのひとつに、姿勢や摂食等の身体機能の低下があります。これらの機能の低下に伴い、座位で生活できる時間が短くなってしまったり、食事の誤嚥が増えてしまったり、呼吸に問題を抱えたり、他にもいくつもの新たな苦勞が発生しています。

しかしながら、この身体機能維持のニーズを満たすハビリテーションの機会にまだ出会えていない方がいます。ハビリ効果という視点でとらえた時に、それは少ないかということもその理由のひとつかも知れません。日立太陽の家の平成二十八年年度の事業計画で「ハビリテーション・ネットワークの構築」を掲げ、二十九年度そして今年度と実現に向けて少しずつではありますが準備を進めてきました。

この「ハビリテーション」というのは、病気や怪我で失った機能を元の状態に戻す「リハビリテーション」とは違い、生まれつき機能障害を持つ障害児、あるいは自閉症やその他、生まれてから早期に機能障害を持っている状態を「元に戻す」のではなく、その状況を基点として、その人の持つ機能の発達に焦点を当てる、つまり、回復を見込んで治療するのではなく、その機能を有能化していくということを目標としています。

太陽の家を利用される、重症心身障害児(者)の多くは、この「ハビリテーション」のニーズを多く持っています。そしてこのニーズに応えるために必要なのが「ハビリテーション・ネットワーク構築」です。医療機関、教育機関、そして福祉機関が連携して、生まれてすぐに、そして児童から成人へと成長する中で途切れることなく、必要な「ハビリテーション」を受けられることができる環境が必要だと考えています。

現在、鳩ヶ丘の福祉施設群の建て替え工事が進行しています。平成三十一年四月に完成予定のこの新しい日立市の施設が、「ハビリテーション」支援の実現を始め、「地域交流」や「相談支援」など、今までより更に豊かな福祉実現の拠点としての役割も担ってほしいと願っています。

輝く笑顔が

百年続きますように

日立市太陽の家

サービス管理責任者 星野久美子

太陽の家の写真を整理したので。膨大な量でした。お父さん、お母さんも若かった。利用者さん達はイケメンでキレイで笑顔がはじけていた。今、私達が季節を追いかけ行事や楽しい時間を作りあげている日常は五十年前から何も変わっていない、いやもつともつと楽しかったのではと思えました。先輩方が残してくれた大切な事を守り続け、これからもしける笑顔を求めていきたいです。

ピンチをチャンスに！

日立市ひまわり学園

サービス管理責任者 玉木 美沙

サービス管理責任者という立場からさまざまな研修に行かせていただいています。先日行かせていただいた研修の一部を紹介したいと思います。それはネガティブワードをポジティブに置き換えて使ってみるということでした。私は「ネガティブに考えてしまいがちで「どうしよう」と、いつも考えています。そして仕事をしていると、やらなければいけないことが山積みになってきます。そこで「どうしよう」と思ったら「これはチャンスだ」と置き換えてみましょう。「やらなければいけない」は「することに決めた」に。感じ方が変わリませんか？

ポジティブワードを使ってストレスのない環境を作れるよう

心掛けましょう。

奇り添うということ

日立市しいの木学園

サービス管理責任者 椎名 桂子

「祝・還暦」「祝・おとな（成人）」しいの木学園では二年連続嬉しいお祝い事がありました。成人から還暦までお祝いができるのはしいの木学園だからこそ。そんな中、わたし自身が利用者さんやご家族に奇り添うことができていくのだろうかと思える事があります。今よりもつと視野を広げて、皆さんの幸せのため何が出来たかを考え、動ける支援員を目指したいと思っています。そして風通しの良い環境を整える事で相談しやすい場にもしていきたいです。今年度もよろしくお願ひ致します。

風の家は七歳になります

日立太陽の家風の家の

サービス管理責任者 三塚榮里子

風の家が開設されてから丸六年が経過し、今年の五月で七年目に突入します。あつという間でしたが、利用者さんやご家族の協力もあり、開設当初に比べたら段違いに過ごしやすい場所になっていくと思ひます。

「我が家」に勝るものはありませんが、それに少しでも近づけるようにと職員一同で日々アイデアを出し合っており、まだまだ改善点もたくさんありますが、今よりもつと！帰るのが楽しみになる場所を目指したいと思ひております。

大好きな物を美味しく

日立太陽の家居宅介護事業所

サービス提供責任者 中村 恵美

一昨年前に居宅のスタッフ数名で口腔、嚥下の講習を受講し、マツサージや舌の介助を行うことで安全な食事を心がけていました。最近ではご本人ご家族と相談し安全に食べていただくために形態を変えて提供することが増えました。見た目や喉ごしは変わりましたが、美味しく安全に食べられる様、学んだことを活かして大切な時間に関わっていきます。

傍らで一緒に

日立太陽の家相談支援事業所

相談支援専門員 横田 寿子

春になり、それぞれが新しい生活を始められている事で、誰かが「新しい」という言葉に不安と期待を胸に抱えていると思ひます。この数ヶ月、一年、何年もかけて不安を少なくする為に準備をしてきた事でしょうか。どうすればよいのだろうか？環境は？自分の事をわかつてくれるだろうか？明るく、優しい雰囲気だろうか？居心地はどうか？色々な思いを持ち、この春を迎えた方もいるでしょう。この気持ちにはきつと誰も同じだと思ひます。相談支援で関わっていると、そんな今までの気持ちと一緒に感じられる事に感謝です。

笑顔と感謝を学んで

井 関 えり子

春の気配を感じながら、そう言えばこんな季節の変わり目に期待と緊張を胸に勤務がスタートしたなと振り返っています。保育士と少しだけの障害を持つ方への知識を持つ私が最初に身を置いたのはまるい背中でちよこんと座るお話の出来るY君の隣でした。コミュニケーションをとる術のない私には安心だったのでしよう。見よう見まねの関わりから介護技術を身につけた利用者さんに添った思いになった頃、やつと皆に心を開いて貰えたような気がします。

利用者さんの持つサインを見

落し、自己満足でしかない関わりにならぬよう、努めて来ました。支援には、家族、職員、絶妙な距離で職員をも支えてくれるボランティア、豊かな時間を届けて下さるグループ、清掃奉仕、手仕事で支援を届けて下さる方々があります。日々の働きから寄付を届けて下さる方、支援は大ききでなく、心の寄せ方、深きである事を学びました。どれも欠けても太陽の家は成り立たないと思ひています。

日立市太陽の家の頃より、障害を持つ方々を「おんもに出そう」から障害を持つ方の側に立ち歩みが進められてきました。が、さらにNPO法人日立太陽の家となつて十年。新聞で読んだ心に残る言葉があります。「0を1にするのがNPOの力、1を理論武装して10にするのが学者の力、ペイする範囲で10を50にするのは企業の力、誰もが利用できるように50を100にするのが行政の力だ。」太陽の家の理事長のもと、0を1にする作業をなかなか理解できず、戸惑いもあつたけれど確かに100になり利用者さんの笑顔に繋がっています。

平成三十一年には、鳩ヶ丘福祉施設再整備事業のもと新しい環境での施設運営が始まりました。今迄の概念にとらわれず、経験と知識を持ってピッカピカの建物に魂を吹き込んで下さい。応援しています。好きなように仕事が出来るように支えてくれた家族に感謝します。太陽の家を去る不安は教えたら限らないけれど学んだ教えを噛みしめて、ちよつと違うところからこの景色を眺めてみようと思ひます。

淋しくはない。太陽の家はいつも心にあり、笑顔に会いたくなつたら訪れればよいから。たくさんの方にお世話になりました。言葉に言いつくせない思いとはこの様な思いなのです。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

日立守る会だより

日立重症心身障害児（者）を守る会

平成三十年度を迎えて

会長 藤枝利彰

平成二十九年度は会員皆様には各行事等に参加ご協力頂き誠に有難うございました。特に九月三十日〜十月一日、「最も弱いものを」とも「ひとりも、もれなく守る」をテーマに、第二十七回関東・甲信越ブロック大会が茨城県水戸市で開催され約三百七十人が各地より参加頂き盛大に行われました。意見発表では村田さんが親子のこれまでの歩みを話されました。また、日立守る会の会員の方にも開催準備及び受付等にご協力頂き誠に有難うございました。

平成三十年度の主な予定は

- ① 日立守る会の総会が四月十四日（土）に日立市太陽の家に於いて行われます。平成二十九年度の事業報告・決算報告及び平成三十年度の事業計画・予算等の審議を行います。また、今年役員の変更がある年の一部の人の変更がある予定です。
- ② 茨城県重症心身障害児（者）を守る会の総会は五月十九日（土）に東海村総合福祉センター「絆」に於いて行われますので会員の皆様には是非

参加して頂きたいと思えます。また、茨城支部澤島会長が退任され、今野副会長に替わる予定になっております。

③ その他の主な行事は県・日立市・日立市社会福祉協議会・日立七団体等で実施されます。各研修会にも会員皆様には参加して頂き交流を深めて頂きたいと思えます。

④ 三団体による第四十回（創立五十周年）すべての障害児（者）の幸せを守る親の大会が六月二十三日（土）に日立市立特別支援学校校体育館に於いて行われます。今回は日立守る会が幹事団体として担当します。現在役員会にて詳細の打合せを行なっております。

主な大会内容は講演会には睦月会（東京都町田市）の綿祐二理事長の講演で「すべての障害児（者）の幸せを守るために」について講演を頂く予定です。午後のアトラクションは佐藤相談役のお孫さんの大武君親子のピアノ演奏等を予定しております。会員の皆様には多くの方に参加して頂きたいと思えます。ま

た、準備及び来賓の受付、接待、駐車場係等の手伝いをお願いする事になりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。鳩ヶ丘障害者福祉施設が平成三十一年四月の供用開始を目指して、現在建設が進められてお

感謝と覚悟

椎名幹子

新しい年が始まりました。息子が初詣で、「無病息災」を願って来ました。我が家にとって、どのような一年になるのか、不安と希望とが入り混っているような感じでした。

太陽の家でのサービスを利用してもう何年になるでしょうか？生活介護では、どのように過ごしているのでしょうか？居室では？グループホームでは？親が心配する事なく息子は精一杯楽しんで来る様子で、自宅に戻ると、アツという間に寝てしまい、寝ながら「ウフフ」と笑ったり

します。一月に主人が体調を崩してしまい、太陽の家に相談したところ、息子の入浴をはじめ、いろいろ

ります。太陽の家は二階に配置される予定になっており、皆様が利用しやすい施設になると思

います。今年一年会員皆様の守る会運営等にご協力をお願い申し上げます。い

ろんなサービスを受ける事が出来ました。本当に助かりました。本

当に感謝しています。今まで利用していなかった他施設でのショートステイを薦められ、見学に行く事にしました。新しい施設、職員に慣れる事、その為には何回も利用する事、わかってはいるのですが正直言

勇気を貰った詩

林 智美

美咲が生後二ヶ月の頃、障害を背負わせてしまった負目か

ら、なかなか前を向けなかった時に「天国の特別なこども」と

いう詩を教えて貰い、前向きに、美咲を育てていこう！と勇気を貰った詩の一部を紹介致します。

この子の成長は とてもゆつくりに見えるかもしれない。もしかして一人前になれないかもしれない。だから この子は下界で出会う人々に とくに気をつけてもらわなければならないのです。

もしかして この子の思うことは 中々わかってもらえないかもしれない。何かをやっても うまくいかないかもしれない。ですから私たちは この子がどこに生まれるか注意深く 選ばなければならぬのです。

この子の生涯が しあわせなものとなるように どうぞ神様 この子のために 素晴らしい両親をさがしてあげて下さい。 神様のために特別な任務を ひきうけてくれるような両親を

この詩を読んだ時、私達の所に生まれてきてくれて、ありがとう！と、素直に思える事が出来ました。





クラフト班ではアイロンがけも大事な作業のひとつです。丁寧に丁寧に心をこめて仕上げています。(しいの木学園)



「私にも貸して!」「やーだよ(笑)」そんな声が聞こえてきそうです。(^^)(風の家)



ホテル・テラス・ザ・スクエア日立にて成人祝賀会を行いました。今年は2名が成人され、新たな門出をみんなでお祝いしました。(ひまわり学園)



真剣な顔で製作タイム!!春の草花作り。つくしんぼの頭を作りました♪(太陽の家)

<p>◎平成三十年度 NPO法人日立太陽の家 利用者総数 三百二十一名</p> <p>男性 百八十六名 女性 百三十五名</p>	<p>日立市太陽の家 総数 二十五名 男性 十四名 女性 十一名</p>	<p>日立市ひまわり学園 総数 二十八名 男性 十八名 女性 十名</p>	<p>日立市しいの木学園 総数 二十四名 男性 十八名 女性 六名</p>	<p>日立太陽の家居宅介護事業所 総数 四十五名 男性 二十五名 女性 二十名</p>	<p>日立太陽の家相談支援事業所 総数 百七十五名 男性 九十七名 女性 七十八名</p>	<p>共同生活援助風の家 総数 二十四名 男性 十四名 女性 十名</p>	<p>四月から利用される方の紹介 ◎日立市太陽の家 ・鈴木日菜さん 新しい環境でたくさんさんの経験を通して、有意義な時間を過</p>
--	--	---	---	---	---	---	--

ごせるようお手伝いができれ
ばと思います。

「ご寄付ありがとうございました
ございました」

◎次の方から寄付を頂きました(敬称略) 十二月～二月

黒澤弘明 鈴木貫一
人形劇かくれんぼ
親切会関東支部
日立厚生医院院長 嶋崎陽一
仁和会 多賀向上会 匿名
有馬郷子
○次の方から物品の寄贈がありました(敬称略)

十二月～二月
椎名将光 村田理恵 匿名
三浦信孝 森山唱子
株式会社日立製作所日立電力
ビジネスユニット日立事業所
総務部 庶務課課長 水出浩司
大森健二 榎田孝行 越田彩
前田あけみ 有馬郷子
阿部結花

編集後記

NPO法人日立太陽の家は
設立十年を迎えます。たくさ
んの方々にご支援をいただき
節目の年を迎えることができ
ました。気持ちも新たに一歩
ずつ利用者さんご家族に寄り
添い、気づける職員として頑
張りたいと思います。(K記)